

第 2684 回例会 2020 年 10 月 15 日 (木)

SAA/山路会員 会報担当/ 川島事務局員

- 点 鐘 本郷会長
- ソング それでこそロータリー
- お客様 無し
- 本郷会長ご挨拶



皆さん今日は 奉仕プロジェクト委員会 & ロータリー財団・米山記念奨学会委員会主催による、卓話等あります。その前に皆様もう

ご存知とは思いますが、4 グループ編成で少し動きがあったので、お話ししたいと思います。

9月25日付、2790地区第4グループ6クラブ連盟にて、7月14日に通知されたグループ再編成案を直ちに撤回するよう求めた。「共同声明の」回答書が10月9日付けで来ました。グループ再編成案の撤回を求めた共同声明に対し地区戦略委員会は

撤回は受け入れないとの方針を漆原摂子ガバナーに提言し、ガバナーはこれを受託致しました。

詳しい話は幹事の方よりあります。

さて話は変わりますが、10月は米山月間の他に

「地域社会の経済発展月間」です。失業、不完全雇用、ビジネスの機会・職業研修・社会保障の欠如は、貧困を引き起こす深刻な問題です。

人々が健康で安全な生活を送る為の手段の一つが働く事であり、貧困をへらすには雇用機会の創出と収入源の確保が必要とされます。

「経済と地域社会の発展」は、ロータリー7つの重点分野の一つとなっています。また世界銀行によると、一日1ドル25セント未満で生活する貧困者数は、

1990年に192万人でしたが2011年には100万人に迄減少しています。

日本では貧困の課題はあまり身近な問題として認識する事ができません、ロータリーは、地域社会とそこに住む人々が経済的、社会的に自立出来る道を開いていると記されています。

●野口幹事ご挨拶



11月4日はガバナー公式訪問となっております。グループの再編成につきましてもガバナーより説明があると思います。ご意見ご質問等も受けますので、この機会にご質問等お願い致します。

●ニコニコ報告

加藤 良二会員・・・市原に勤めて2年半がたち、念願の移籍となりました。

西村共々宜しくお願い致します。

白鳥会員・・・加藤さん入会大歓迎です。長い間待ちました。

檜垣会員・・・本日は卓話でのご清聴ありがとうございました。本来の事業主旨から外れお金の話に片よる内容で申し訳ございません。今後とも宜しくお願い致します。

宮武会員・・・本日は卓話の機械を頂きありがとうございました。皆様是非米山記念奨学会の活動へのご協力ご寄付をよろしくお願い致します。

本郷会長・野口幹事・・・加藤良二さん入会おめでとうございます。これから末永く親睦を深めていきましょう。また今日は奉仕プロジェクト委員会担当で米山月間に関する卓話を頂き、ありがとうございます。次回は11/4水曜日の例会開催となりますので、ご留意下さい。

●本日のメインプログラム

米山記念奨学委員会卓話

本日の司会

S A A 山路会員
平野委員長



●新会員 加藤良二様 入会式



●委員会報告

会員増強・退会防止&公共イメージ委員会の
星委員長より会員手帳を作成するにあたって、
業種・業務内容・PRポイント記載してメール返信してください。



●出席報告

前々回確定 44.82% 出席者34名 欠席者28名

本日出席率 58.62%

例会場

懐石料亭 淡粋



佐倉ロータリークラブより移籍

医療法人芙蓉会五井病院の病院長です。



VONDS市原FC 永野様・山根様



関東サッカーリーグ1部 結果 第4位でした。
来季もスタッフや監督コーチ陣、選手達と共に
JFL昇格を目指して頑張りますので、
ご支援ご協力の程を深くお願い申し上げます。



●本日の卓話

外国人留学生への奨学金・ロータリー米山記念奨学事業について
奉仕プロジェクト財団・米山記念奨学会委員会より

宮武委員長



檜垣福委員長



米山記念奨学会は外国人留学生に対し、全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給・支援する民間の奨学財団で国内では民間最大規模の国際奨学事業です。これまでに、世界129カ国、21,624人におよぶ外国人留学生を支援し、日本のロータリアンとの交流によって将来、日本と世界とを結ぶ懸け橋となる人材を育てる事業となります。

事業の特徴としまして、奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し会員との交流によって、日本の社会を知りロータリークラブについて学びます。

奨学生には地区内のロータリークラブが世話クラブとなり、さらにその会員の中からカウンセラーが付いて奨学生との交流を深め、日本での生活が心豊かなものになるよう配慮しています。

奨学生は、ロータリアンとの交流を通じて奉仕の精神に触れ自らの精神を磨いて人生観・職業観を高めます。このようなことから「世話クラブ・カウンセラー制度」は、

米山記念奨学事業の神髄といわれております。

また、米山奨学生の採用には全国統一の基準があります。

「将来の目標・留学の目的がきちんとしているかどうか」

「交流への熱意があるかどうか」

「人間性・人柄の良さ」「コミュニケーション能力の高さ」

そして、地区の裁量です。奨学金プログラムは、

主に大学・大学院対象のプログラムをはじめ色々なプログラムを備えております。

それでは簡単にプログラムの説明をさせていただきます。

学部・修士・博士課程奨学金は、採用者の9割を占める代表的なプログラムです。

各地区の米山記念奨学委員会が指定校を定め、推薦された学生を面接選考して合格者を決定します。

また、指定校推薦制度は地区が選定した指定校から優秀な学生を推薦してもらい、推薦された候補者を地区が面接・選考するものです。

クラブ支援は、現役奨学生の世話クラブが奨学期間を延長して支援したい場合に適用されるプログラムで6カ月または1年の選択制です。地区奨励奨学金は、地区の裁量によって大学・大学院以外の短大・高専などに在籍する留学生を対象としています。クラブ支援は、現役奨学生の世話クラブが奨学期間を延長して支援したい場合に適用されるプログラムで6カ月または1年の選択制です。

海外応募者対象は、日本での留学先が決まっている外国人が海外から個人で応募できるプログラムです。

海外学友会推薦は、海外の米山学友会が現地の日本留学希望者を募集・選考して推薦するプログラムです。現在は台湾・韓国のみ実施となります。続きまして地区別寄付の実績についてです

個人平均寄付額、特別寄付者割合ともに前年度から減少しております。

前年度個人平均寄付額は 15,055 円。特別寄付者割合は 45.8%となります。

因みに一番高い地区は 2590 地区で個人平均寄付額が 27,190 円となります。2790 地区は 12 番目で 14,623 円でした。2790 地区の寄付実績についてです。2790 地区の平均は 14,623 円でしたが、市原ロータリークラブの個人平均寄付額は 16,024 円となっています。

また、当クラブの目標として個人平均寄付額を全国平均の 15,000 円と目標にさせていただきまして、金額が少しでも多くなりますと奨学生の受け入れ数が伸びますので少しでも多くの寄付をお願いしたいと思います。

米山記念奨学会は、内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の認定を受けました。これにより 2018 年 9 月 12 日以降で個人では 5 0 0 万円以上、団体・企業などでは 1, 0 0 0 万円以上の寄付をしていただき定められた条件を満たす場合に紺綬褒章の申請をします。あらかじめお申し出いただいた場合には分納による寄付も可能となります。

また、内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため当会への寄付金には所得税（個人）、法人税（法人）の税制優遇が受けられます。相続税も非課税となります。

そして、従来の「所得控除」にくわえて「税額控除」のどちらか有利な方式を選択できるようになりました。税額控除は、所得税率にかかわらず寄付額の約 40%の金額が所得税額から控除されるもので、所得控除よりも控除額が大きくなることがあります。

法人として寄付した場合でも法人税額が軽減されます。また、遺言による寄付の場合におかれましても相続税額が軽減されます。

そして、事業のシンボルマークについてです。

重なりあうハートは、ロータリアンと奨学生です。

留学生の支援・交流を通じて国を越えた信頼関係を築き世界の平和を願う“心”を育てるという事業創設の願いが

込められています。手はそうした“心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

最後に、事業の使命についてです。

日本のロータリアンが外国人留学生に支援し交流を通じて将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」と



なって 国際社会で活躍しロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

以上をもちまして、米山記念奨学事業の説明を終わりにします。

